

# 令和2年度【観光振興事業】補助事業要望調査票(貸切バス関係)

令和2年度の車両・機器等導入にかかる補助事業について、各事業者の皆さまのご要望を調査します。  
毎年度、早期の内示、交付決定を希望するご意見を多数いただくため、今回調査時期を前倒すこととしました。よって、現時点(令和元年度)の補助金交付要綱、実施要領、運用方針に基づき、調査を実施します。補助金交付要綱等が正式に策定された際、ご要望に沿わない結果になることもあり得ます。さらに、当省の進める政策の主旨をご理解の上、積極的に取り組まれる事業者を優先的に支援させていただきたいと考えています。その点ご了承の上、ご回答ください。  
ご要望は、各地方運輸局運輸支局の管轄区域毎に調査票にまとめ、当該運輸支局の輸送担当あてに提出してください。

会社名	ご担当者名
(TEL)	
ご連絡先 (FAX)	(E-mail アドレス)

## 【必ずお読みください】観光振興事業の要件について

- ※1 観光振興事業補助は、「平成31年3月28日付 観光庁告示第三号」により、観光庁長官の指定を受けた外国人観光旅客利便増進措置を講ずべき区間(以下「指定区間」)内の駅・ターミナル等を営業区域に含むものが対象となります。  
また、補助金交付申請を行うまでに観光庁の指定する手続きにより、公共交通利用環境刷新計画の認定を受ける必要があります。
- ※2 観光振興事業補助を活用するには、多言語対応・無料Wi-Fiサービス導入を行うことが必須要件となります。  
(例. 多言語対応の補助を受ける場合、機器導入と同時に、無料Wi-Fi導入を行う)  
(例. 多言語対応の補助を受ける場合、機器導入の際、すでに無料Wi-Fi導入が行われている)
- ※3 観光振興事業補助を活用してリフト付きバス等(KK-6~12)を導入するには、多言語対応・無料Wi-Fiサービス導入を、車両と同時に行うことが必須要件となります。  
(例. リフト付きバス等の補助を受ける場合、車両導入と同時に、多言語対応・無料Wi-Fiサービス導入を行う)  
(例. リフト付きバス等の補助を受ける場合、車両導入の際、すでに多言語対応・無料Wi-Fiサービス導入が行われている)
- ※4 多言語対応、無料Wi-Fiサービス、リフト付きバス等(KK-1~12)の導入に要する経費のうち、オプションを除く機器本体価格(税抜き)・車両本体価格(税抜き)が補助対象となります。

## 1. 観光振興事業の要件該当確認

○ 営業区域 ( )

○ 必須メニュー導入計画 ( 導入形態の確認 ) (観光振興補助金申請の有無確認)  
※以下の3つのうちどれかを選択してください。 ※以下の2つのうちどれかを選択してください。

・ 多言語対応	<input type="checkbox"/> 新規導入	<input type="checkbox"/> 既存機器の活用	<input type="checkbox"/> 機能向上(買換)	<input type="checkbox"/> 補助金申請する	<input type="checkbox"/> 補助金申請しない
・ 無料Wi-Fi サービス	<input type="checkbox"/> 新規導入	<input type="checkbox"/> 既存機器の活用	<input type="checkbox"/> 機能向上(買換)	<input type="checkbox"/> 補助金申請する	<input type="checkbox"/> 補助金申請しない

○ 選択メニュー導入計画

- ・ リフト付きバス等の導入  導入する (  新規導入  機能向上(買換) )
- ・ 外国人旅行者が移動を楽しむバスの導入  導入する (  新規導入  機能向上(買換) )
- ・ 情報端末充電機器等の導入  導入する (  新規導入  機能向上(買換) )

## 2. 令和元年度の要望台数及び要望額について

### ① 多言語化への取り組み

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KK-1	多言語案内用タブレット (翻訳アプリが搭載されたもの)	台	万円	万円	令和 年 月 日
KK-2	多言語翻訳システム機器 (ポケットーク、iii(イリイ)等)	台	万円	万円	令和 年 月 日
KK-3	ホームページの多言語表記	式	万円	万円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. で必須メニューがすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。

- ※1 ホームページ(KK-3)はパソコン、スマートフォンから利用可能で、検索機能、予約システムを備えたものに限りです。
- ※2 各導入機器については、製品が特定でき、要望額が検証できるよう、カタログ、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

### ② その他多言語化(案内標識の多言語表記、案内放送の多言語化等)

整理記号	事業概要	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KK-4		万円	万円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. で必須メニューがすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。  
事業の具体的内容を以下に記入の上、見積書(なければ価格を検証できるもの)を添付してください。

- ※1 多言語表記は英語併記を行うものを基本とし、中国語(簡体字/繁体字)又は韓国語その他必要とされる言語も対象とします。表記に当たっては、視認性、美観を損なわないよう配慮する必要があります。
- ※2 ナンバリング、ピクトグラムにかかる経費は、多言語表記と合わせて行う場合補助対象とします。  
事業内容が判別でき、要望額が検証できるよう、カタログ(事業内容を説明した書面)、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

### ③ 無料公衆無線LAN機器の導入

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KK-5	無料公衆無線LAN(無料Wi-Fi)	台	万円	万円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. で必須メニューがすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。

- ※1 無料公衆無線LAN環境の整備に要する経費は、「機器購入費」(無料公衆無線LAN機器の購入に係る費用)及び「機器設置工事費」(無料公衆無線LAN機器の設置工事に係る費用、ソフトウェア購入費(セキュリティ対策含む。))を補助対象とします。
- ※2 本事業による補助金を活用し、無料公衆無線LAN環境の整備を図る際は、共通シンボルマークJapan.Free Wi-Fiの申請も併せて行い、同シンボルマークの掲出を行う必要があります。
- ※2 製品が特定でき、要望額が検証できるよう、カタログ、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

### ④ リフト付きバス等の導入について

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額	導入予定時期
KK-6	リフト付きバスの導入	台	万円	(通常車両との差額/2) 万円	令和 年 月 日
KK-7	エレベーター付きバスの導入	台	万円	(通常車両との差額/2) 万円	令和 年 月 日

「補助対象経費」には補助対象車両価格(オプション抜き)+車載機器価格×台数、又は改造費+車載機器価格×台数を記載してください。

○補助対象経費(1台あたり)について

- ・リフト付きバス      ・通常車両価格(                      )万円      ・補助対象者車両価格(                      )万円  
 ・エレベーター付きバス      ・通常車両価格(                      )万円      ・補助対象者車両価格(                      )万円

- ※1 リフト付きバス等の導入については、導入・改造に要する経費のうちオプションを除く車両本体価格及び車載器類の価格、改造費が補助対象になります。
- ※2 補助対象となる車載機器類は以下の通りです。  
 a. ノンステップバス標準仕様装備に準ずる装備(リフト付きバス等(K-1、2)に設置可能なもの) b. アイドリングストップ、オートマチック装置  
 c. ABS装置 d. 車椅子固定装置、床の滑止め加工  
 e. 上記aからdまでに掲げるもの他、バリアフリー化に資する車載機器類であって、大臣が認めるもの
- ※3 複数台を要望され、1台あたりの通常車両価格、補助対象車両価格バラつきがある場合は、内訳のわかる資料を添付してください。
- ※4 貸切の場合、観光用途のみが対象となるため、車両と共に、多言語・WiFi・キャッシュレスのうちのどれか一つを導入する必要があります。

○車両の導入状況 (以下に数値を記載してください。)

- ・バス車両の総保有台数(A)                      (                      )台      ・リフト付バス等車両の総保有台数(B)                      (                      )台      (B/A                      %)

### ⑤ その他訪日外国人旅行者が移動を楽しむ目的で導入するバス

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額	導入予定時期
KK-8	サイクルバスの導入	台	万円	(下記参照) 万円	令和 年 月 日
KK-9	水陸両用バスの導入	台	万円	(下記参照) 万円	令和 年 月 日
KK-10	オープントップバスの導入	台	万円	(下記参照) 万円	令和 年 月 日
KK-11	レストランバスの導入	台	万円	(下記参照) 万円	令和 年 月 日
KK-12	上記以外のバスの導入	台	万円	(下記参照) 万円	令和 年 月 日

※上限額は、上記1. で必須メニューがすべて「新規導入」となっている場合は210万円、それ以外は140万円となります。  
「上記以外のバス」の内容を具体的に、複数の種類がある場合は、内訳も記載してください。

- ※1 サイクルバス(KK-8)については、自転車を解体せずに乗車することができ、利用者への対応が多言語で対応している車両の導入・改造等に要する経費及び旅客施設において自転車を移動させるためのスロープの設置等に要する経費(設計費、販促物作成費用、多言語のウェブサイト制作費用及び翻訳費用を含む)を補助対象とします。
- ※2 水陸両用バス等の導入(KK-9~12)については、利用者への対応が多言語で対応している車両の導入・改造等に要する経費(設計費、販促物作成費用、多言語のウェブサイト制作費用及び翻訳費用を含む。)を補助対象とします。
- ※3 車種、価格のわかる資料を添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

### ⑥ 情報端末への電源供給機器、非常用電源設備の導入

整理記号	事業概要	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (対象経費/2)※	導入予定時期
KK-13	情報端末への電源供給機器	台	万円	令和 年 月 日
KK-14	非常用電源設備	台	万円	令和 年 月 日
KK-15	その他付随機器	台	万円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. 必須メニューの回答にかかわらず、1/2となります。

その他の内容を以下に具体的に記入してください。

- ※1 情報端末への電源供給機器(KK-13)は、災害等の発生時において訪日外国人旅行者が所有する携帯電話等の情報端末を充電するための機器が補助対象となります。(情報端末を同時に10台以上充電できるものが補助対象となります。)
- ※2 非常用電源設備は(KK-14)は、旅客施設や車内・船内において、多言語で情報提供等を行うために必要な非常用電源装置(蓄電池システム、発電機等)が補助対象となります。
- ※3 各導入機器については、製品、機器構成が判別でき、補助対象経費が検証できるよう、カタログ、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

